

政策コメンテーター報告(第1回)(意見照会期間:2017年4月10日~4月19日): 樋口 美雄 慶應義塾大学商学部教授

質問事項		記述式回答
個人消費の動向		
1	個人消費の動向をどうご覧になっていますか。また、そのような動向となっている要因やメカニズムについて、お考えをご教示ください。	ここ2-3年、多少なりとも賃金が上昇するようになったにもかかわらず、限界消費性向が低く、増加した所得の多くは貯蓄に回っている。その背景には、所得の上昇が一過性のものであり、将来や老後に対する不安から危険を避けるため貯蓄しておこうとする気持ちが強いことが影響していると考え。
消費の活性化		
2	消費を活性化するためには、どうしたらよいとお考えでしょうか。	安定的な社会保障制度の確立・国民への提示が必要。
プレミアムフライデー		
3	効果	上がっていない。
	早帰りを促すための工夫	計画的・効率的な仕事の促進。
	本取組を消費拡大につなげるための工夫	生産性の向上と恒常的給与の引上げ。
	本取組を続けていくための工夫	雇用条件の改善。
	その他	